

「一人ひとりの発達に応じた療育を考える」

子どもがとる行動には感覚の特性による意味があり、それを知ることによって子どもの思いに気づき、現場で活かせる関わり方を考えることが大切です。発達障害の子どもへの困り感について、感覚統合療法をベースに小西紀一氏にお話しいただきます。

また作業療法士の松村エリ氏には、学校の先生や保護者と協働し子どもがクラスに参加できるようになった事例を紹介していただきます。

日時：平成31年2月9日（土）10:30～15:30

場所：兵庫県立西播磨リハビリテーションセンター

研修交流センター1階交流ホール

参加費：無料

<プログラム>

10:00 受付

10:30 開会

10:40 はじめに 澁川壽彦氏（児童発達支援センターたんぽぽアドバイザー）

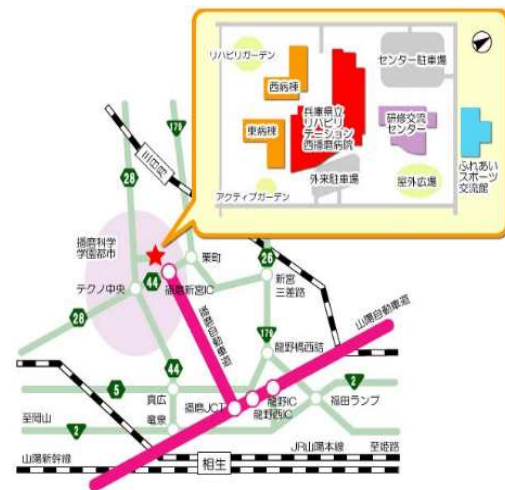
11:00 「子どもの理解のために 早わかり感覚統合」 作業療法士 小西紀一氏

13:00 お昼休憩

13:45 「チームで叶えるこどもの社会参加 ～作業療法士の学校訪問、事例を通して考える～」 作業療法士 松村エリ氏

15:15 質疑応答

15:30 閉会・アンケート



講師 小西 紀一 氏（姫路独協大学名誉教授、京都大学医療短期部名誉教授）

大学では認知心理学を専攻し、アメリカにて作業療法の資格を取得後、愛知県の療育施設を経て、京都大学教授、現在は姫路獨協大学名誉教授として教壇に立つ。発達障害の子どもと多く接しながら、昭和56年設立の日本感覚統合障害研究会（現、日本感覚統合学会）に参加し、感覚統合理論の研究を続けている。子どもが求めていることを常に観察し、言語的なコミュニケーションだけではなく、五感を通してその子どもの思いを理解し、寄り添える理論を持つ。感覚統合を提唱したA.jean.Ayres(ジャン エアーズ)の「楽しくなければセラピーではない」を最も大切に、子どものモチベーションやチャレンジ精神を促し実践。現在は、全国で保護者や教育関係者の方々にも分かりやすい講演や執筆、作業療法士の育成活動を行っている。



講師 松村 エリ 氏

奈良県総合リハビリテーションセンターに約7年間勤務。主に発達に特性のある就学前児童に対して感覚統合療法を実施。H27年度よりフリーランスに転向し、地域での巡回相談や個別療育の傍ら教員や保護者に向けて「遊びが育むこどもの心とからだ」をテーマとした研修活動を行う。H28年度より沖縄に渡り「NPO法人ADOCproject こども相談支援センターゆいまわる」にて保育所等訪問事業に2年間従事する。ゆいまわるの理念である「先生の届けたい教育」に焦点を当て先生や保護者と協働し園や学校での子ども達の社会参加を目指し、先生が安心して教育を届けられるよう情報を提供する。現在は奈良を拠点としフリーランス作業療法士として行政での療育、巡回相談、研修を実施する傍ら執筆活動も行っている。

